

## 屋良朝苗日誌

### 1 屋良朝苗日誌について

屋良朝苗日誌（以下「日誌」という。）とは、米国統治時代の琉球政府で初の公選主席、本土復帰後の沖縄県で初代の沖縄県知事を務めた屋良朝苗氏が、一九五三年（昭和二八）一月から一九八五年（昭和六〇）一〇月までの三十年余りにわたって書きつづった一二五冊の日誌とメモ帖類である。

日誌の原本は屋良氏の遺族により読谷村に寄贈され、沖縄県公文書館は原本から複製を作成して所蔵している。

### 2 日誌の公開及び翻刻の利用について

#### （ア） 日誌の公開について

沖縄県公文書館では、手書きの文章を読みやすくするために、テキストデータ化する翻刻作業を進めている。本稿はその成果の一部である。

日誌は、沖縄県公文書館の設置及び管理に関する条例第十一条の規定により、個人の秘密の保持その他合理的な理由により利用に供することが適当でないと判断される情報については黒塗り処理を行っている。

#### （イ） 翻刻の利用について

日誌の一部を出版物等に掲載しようとする者は、沖縄県公文書館管理規則第九条（出版物等への掲載）の規定により、あらかじめ「出版物等掲載許可申請書」を沖縄県公文書館指定管理者に提出し、その許可を受けなければならない。

翻刻に誤りが見つかった場合には、都度、改訂するものとする。その際には改訂箇所及び改訂日が分かるようにする。

### 3 凡例

#### （ア） 文体・語句・送り仮名について

- 語句は基本的に原文のとおりに表記した。
- 誤りと思われる語句は後ろに「ママ」と付した。



昭和四十四年一月一日

一月一日(水)曇

主席第一回の正月である 身心共に あわただしく落つかぬ御正月である いつもなら若干朝寝も出来るが今年は出来なかった。六時半に出かけねばならなかったから六時には起きた 七時から RBC のスタジオで朝日放送の企画で愛知外相との電話対談、集団就職者へ激励の辞が送られた為だった それが終わって一応帰ってお雑煮を食べたがいつもと違ってゆっくり味わえなかった 特に公舎に移って間もないことであつたのでなお更に落つかない 十時から那ハ市主催の新年名詞「名刺」交換会が配電ホールであつた。出席す。盛会であつた 来賓としてあいさつする その前に八時に石川県のユースホテルの青年等、六十名位にあいさつする 晝は朝夫婦、朝樹夫妻 昭彦君等皆集るオトソをあげ、昭洋君が出勤して不在であつたので外の者一同、朝樹君のカメラで写真を室内でとる、御客があるのではないかと思つたが、そして総ムからも四、五名 手伝いも見え御馳走も八汐荘から取寄せて準備してあつたが殆ど来客なし、茂治君、喜屋武君が代表して見えていただけであつた

局長には宮里栄一氏、砂川夫婦が見えていただけ 淋しい正月ではあつた、午後は高等ベム官の新年宴会へ行く、いつもの通りで やはり集る人々は儀礼的あいさつで形式的の気がする

約一時間御つき合いし帰る

松川の内に寄り、篤ちゃんの御馳走でしばらく、話し、また御仏だんに御焼香して公舎もほっておけず帰る。晝は具志夫婦も見えていた。

夜は朝晴夫婦に子供等朝惟夫婦に子供等も皆見えていた、

タイムスの豊平君 屋宜君等 外二名 見えてしばらく話して帰るとにかくいつになく一般来客の無い御正月であつた、そして落つけない御正月であつた

一月二日(木)曇

午前中は大した御客なし

桃原夫婦、安里彦範氏等見える、屋宜君も見える 二時から会議室で記者会見、皆で二〇名位集つていた、高等ベム官との会見記等と新年の抱負等について話した後質疑後 後で抗議あり 読賣、時事、琉球新報等平良側の記者から、感情的にとらわれ過ぎた抗議があつた こちらの事ム上の不手際もあつた 教職員のようになつて私の事を心配してくれる人もなし、報道人の間に立って取もつて呉れる人もなく 一種孤立した形であるので淋しい事だ 秘書の大城君も未だなれないし広報課の諸君も冷たい気がする 無理もないことである 深いつき合いもなかったのだから

今後 大変注意の要あり 井川記者 荒木記者等は残つて話してくれた この方々は好意をもってくれている人々だ しかし大した気にする

必要はない 記者インタービューでは知念副主席も仲村局長も立ち合われた

一月三日(金)晴

朝、九時 来客 北海道の方 引続き 首里 仲里先生来訪さる、朝夫君が年賀ハガキ持参、午前中はそれを見る 午后、三時から出勤、決裁をする名古屋から名城さん来訪、表敬あいさつ、二、三の用件あり。五時から六時 ラジオ沖縄のラジオ質問あり――

昨日、夜は 新島さん、順子さん 桃子さん 又吉さん、宮里悦さん、城間さん、仲宗根さん方来訪してにぎわった。

一月四日(土)晴

仕事はじめ 九時に政府職員に対してあいさつする

政府職員の集り良し その後に局長会、その後に 知念さん、宮城さんから復活予算の件について説明を聞く、十一時二十分 政府出発す 朝、岸所長から電話 また 所長は主席室にまであいさつに見え 見送りにも見えていた 十一時半、記者のインタービューす 十二時半 乗り込む各局長 社大党の議員の方々 喜屋武君、茂治君 ナハ市長 助役方見送りに見えた 沢山の方々が見えた。仕事の重い為、心も重かった 十二時五〇分出発、一時間五〇分の後、羽田つく 記者が出迎えた 貴賓室で簡単なインタービュー 出迎え人も多し 吉田氏も見えて居た

グランドホテルへ。四時から特連局長と懇談、五時から大浜先生末次氏 吉田氏 宜ノ座、■氏等と夕食会 西銘氏も一緒

特連局長との話では増額は困なんの事だったが四、五〇億円と云わずに五億か一億位にしてそれに似合う項目をつくって折衝せよとの事、吉田氏の口添えで十億位になる項目を作ってもらった そこに大浜先生が見えて財投五億位を加えて十五億から二十億にとの事、山野局長も了解した後で夕食会后、西銘君が吉田氏と三名で打合せた結果、私が持ってきた要請額、四、五十億を以て当る事になった それを さんに表にってもらう事にした

前橋から澄夫親子、仲宗根さんと一緒に来訪との事、室屋で会う 夕食をとってもらい泊って行く事になり私も用をすましてしばらく楽しく寛いで話す、沖縄に電話したりして連絡する 後で澄夫君としばらく話す

一月五日(日)晴

日本晴れ

孫等が朝早くから起きて暴れまわる、可愛い孫等

下の食堂に行って一緒に朝食をとる 洋食は余り好まぬらしい しばらく室屋で休み、霞関ビルに上って見るべく 一緒に出る しかし日曜で快晴であるというので見物人延々として果てがなくなとう／＼は入れなかった 立石さんに案内 警視庁一〇番見学す それがすんで新橋のう

なぎ屋で晝食、久しぶりにうなぎを食べる、孫等うなぎ好まず

三時頃に霞関ビルに上る 立石さんの計らいで無料パス、上って見る別にめずらしい事もない 廊下を一周して帰る、帰って孫等に御年玉をやり しばらく休み、五時半頃 山城さんの案内で励す会の皆さんの懇親会場へ。東京教育会館へ、男女二十名位集り温い会合であった。出発時に孫等も前橋に帰る、名残り惜しかったがホテル玄関で別れる

神山さん、見里さん、高嶺さん 喜屋武さん、初子、久子、芳子、ツル子水野さん 広田さん、上江洲さん、山城、大城さん 古堅さん、比嘉君 宮川君等であった、外一人二人

知念高校時代の話に花が咲いて時のたつのを忘れる位であった

一月六日(月)晴

十時 総ム長官 その後記者会見、両副長官、特連局長 こちらは大浜先生、西銘君も一緒であった 晝食を南援でとり 二時に木村副官房長官に会う、ここでは高瀬大使や西銘君臼井先生も見える 勿論 大浜先生も御一緒する

さらにしばらく休み、大蔵大臣に会う、長時間話してくれた

せん挙のしこりの影響なしと云っていた。ギノ座、大城、立石、運転手砂川君一緒にホテルで夕食懇談。

君も一緒 夕食后 私の室屋で砂川君、大城君一緒 しばらく話して休む

一月七日(火)晴

九時半出発、郵政省へ 事ム次官と局長二人 次官 浅野賢澄貯金局長 鶴岡寛 保険局長 竹下一記氏。大城亀助君も一緒砂川局長も同伴 会館建設と云う事については 私ははじめてはつとして疑問をもち始めた

それが終って アメリカ大使官訪問 オスボン「オズボン」公使に会う 大した事なし ジョンソン大使にも十分位会う

余り面白くなく皮肉な釘をさすような事を云っていた

台湾での教え子 岩村君来訪 テレビモーニングショウの交渉に見える。三時半 総理訪問 一時間位話す 予算問題とB52、放射能等について訴える対策を要請す なお二時から外ム大臣に三十分位会う、主として放射能、B52対策 とにかく協力方依頼す 努力するとの事、確約とまでいかなかった 佐藤さんも秘書に外ム、私学技術庁に指令を出していた 小嶺文教局長、ホテル来訪

六時から床次大臣に夕食招待 大浜、吉田、西銘君と私副長官一人、山野局長 六名 ホテル大谷の近く福田屋という名料亭であった。後で聞いた話であるが総ム長官はあの様な話し合いが出来た事を喜んで居られたとの事である

一月八日(水)晴

田中幹事長 根本政調会長 臼井沖特委員長に会う、大浜さん、西銘さん、吉田さん一緒、幹事長は頭の回転が早

い人であるから、くどく説明せず  
結論だけでとの事であったので結論  
だけを話した。そこで古来の■■の  
話が根本会長から出た。それから  
引続き院内

朝、モーニングショー、フジテレビ

秋見さん 高岡さん 十時 東京事

ム所 文教の晝食会 ヒルトン。

大浜先生 吉田さん参加。幹事長

には一時半、公明 社会 民社、共産、  
二院 歴訪する

平良さん 安里さん方 グランド

ホテル来宿 六時頃から宮城初さん

松原悦子さん来訪 夕食を共にし

さらに室屋で しばらく話してい  
かれた、マッサージの心得があつて松原

さん 私のかたを首筋をもんでもら  
った 大変効果があるようであつた

十時頃帰らる

一月九日(木) 晴

朝起きて見ると凶報あり

日本青年会館五階に火事 その為

に古堅さん窒息死したとの事 ■■■

重症で慈恵病院に収容されたとの  
事驚いて慶応病院に見舞いに行く。

■■■意識回復していた 一寸見

舞って慈恵病院訪ねる 古堅氏の死  
体を見る 人の命のはかない事よ。昨

夜八時頃グランドホテルで会ったば  
かりだったのに。

神山先生 大城さん見守る 御焼

香して帰る 文部省訪問 沖縄係り

室訪問、佐藤氏に会い各局長室訪問

名刺だけおいて帰る

グランドホテルで大浜先生 吉田  
さん、ギノ座さん、西銘さん晝食を共  
にし いろいろ話しを承る

一時 総ム長官 鯨岡 山野氏に会  
う、二時から下田駐米大使に会う 四

時からニウジャパンで藤山、宇都宮、  
赤城代ギ士に会う 総ム長官とは一

体化、諮問委員会 ゼネスト等につ  
いて意見交換、要請書を出してくれとの  
事

下田大使とはたがい二人の立場  
意見をのべ合っただけ

三代ギ士は沖縄側の云い分とよく  
一致した考をもっていた

下田大使をひどく くさしていた  
夜、帆足計夫婦や島津の吉田専ム方來  
訪される

文教図書御まねき夕食会、德里社  
長 瑞山専務、砂川氏、大城氏と私。

いつか大浜先生と一緒に料亭だつ  
た

一月十日(金) 晴

六時半出発 八時 羽田発 帰途

につく、立石さん 主任と共に羽田ま  
で見送って下さる、ギノ座君にも御世  
話になった

ヒ行機でインタービューをまとめ  
る。時間一ぱい一ぱいだった

那ハには副主席以下 各局長 喜  
屋武君 茂治君 家内等 西銘君も

一緒に記者にインタービュー無事す  
まし、一応内で休み

二時頃から出勤する、翁長さんから  
糖業審議会の模様について公舎で説  
明、大分難行の態である。内へ帰って

休む 一彦ちゃん来訪、しばらく遊んで帰る

一月十一日(土) 晴

午前中、サンキー 公舎で会う

十三日八時 高ベンに会う事

ワーカー労働局次長、総合布令の説明に来る

和文もなく英文で説明する

労働局長も一緒に聞く。一時間以上聞いたが英文をほんやくして労働局に一応検討の上に再び話し合う事にする。しかし廿五日頃発効させたいとあせている様子、十二時十五分、記者インタービュー、十二時半から名ゴへ。しばらく振りに研修青年諸君に私の青年時代について一時間半話し、会心の話ではなかった、どうも調子が悪い、青年の家をはじめ見た、四時に出発、第六選挙区の私の当選祝賀会に出席す、並里公民館に。

大城清一、宮里武英、中山興真喜屋武真栄君等来ヒンも見えていた。七時頃まで居て帰る。あいさつして帰る。支持者に対し感謝する。

一応公舎に帰り、それから松川へ。しばらく振りに庭を見る。少しあれている。朝夫 和子 昭洋君とライスカレーの夕食をとる。

労働局長より総合布令公布との連絡あり。驚いた。四種コ雇者の保ゴ、特免従業者の保ゴの名で布令、公布、二月四日のストに先手を打ったものと思う。食いにげの仕事の一つと思ふ。琉球新報の平良君から電話意見を聞かれる。

夜はまた不安交々いたり 苦しい夜だった。

〔中略〕

一月十三日(月) 曇

今日は悩みの多い日であった。朝、七時半出発。八時から十一時半頃まで高等ベム官と総合布令について話し合う。施行延期を強く要望したけれ共。到底受け入れられなかった。十二時に帰って来ると局長会議あり、時間も入り乱れていたが与党から糖価問題について要請、引続き野党代表から六ヶ項目について申し入れあり。

糖価問題は共通の申し出で大変頭を悩ました、砂川、宮里、局長等の心配で糖価十五■を屯当り追加する財政措置を政府が講ずる事にする。今日は最も苦悩の多い日であった、六時から高等ベム官の送別会を主催していたので、それもまた気にかかる、記者会見もあり、これにも頭を悩ます。一応内へ帰る。嘉納道子さん母子来訪、家内も一緒。送別会へ六〇〇人位の集りで盛大六時半。ベム官夫妻出席予定通り式を進め。とにかく無事終り、肩の荷が一つおりた、婦人の方々。教職員会の幹部も私の為に見えていた。感謝する、しかし与党政党関係者は見えなかった様だ。残念に思う。なすべきを為し目的に進む道もあると思うが、いつもの感謝状は今日は取止めにした。これも異った意味でいろ／＼批評もあるだろう致し方なし、アンガーさんも気にされた。

事と思う。すまないと思うが綜合布令の現時点では簡単には感謝状まではふみ切れなかった。――

一月十四日(火)曇 後大雨

二時 島尻地区 教研大会に出席  
あいさつ 於糸満文化会館

或箇所が 声がつまった、やはり孤独感に陥る所がある 喜屋武君や大城君等に心配をかける。四時にアンガ―高等ベンム官、カーペンター民政官とサンキ―中佐と一緒に離任あいさつに見える 二十分程話して帰る  
その後記者会見

一応内に帰る 家内伴い瀬長さんの招宴 ショット氏の歓迎レセプションに出席、主として高瀬大使と話す。それでも二時間位は要した会合だった。

一月十五日(水)曇

昨日からノド風邪気味 一日内で休む 国旗掲揚に一さわぎする警官の手つだいで 立つには■ったが不便である

四時頃から正子さん来訪。しばらく話して帰る 朝夫君 古波倉医院の看ゴ婦さんを案内して来る 血圧一四〇―九〇 異常なし、ブドウ糖注射 風邪薬をいただく ずっと内で休む やはり私には行動した方がよいようだ。

一月十六日(木)晴

朝十時 綜合布令の件でカーペンター民政官に会う積りであったが十

時過ぎ 衆議員 沖特対委員一行十五名の来県 迎えに行かねばならぬのでカーペンター氏との会う時間は延期して三時半とする 十時過ぎ 沖特対委一行迎えに行く、記者会見まで立ち合つて帰る。十二時からタイムス 上地社長、比嘉氏 琉球 長嶺局長 外間氏を晝食に招き懇談する 綜合布令、ゼネストに対し意見を聞いた こちらは知念、仲村、仲松氏、富川君一緒する。結局 本土政府に動いてもらう外はないと云う事であった。幸 沖特委も見えた事であるからその線に沿って折衝を進めていく事にする

一時四十分に議員団 表敬あいさつで見えるという事であったが一時間二十分頃すで見えているとの事で大急ぎで帰る。十分位表敬あいさつを受け、出席局長を紹介して後 帰る。三時過ぎ民政官を訪ね 布令公布の非民主性を訴え、新聞切り抜きをかくえて行って 抗議もするし お願いをするし、たしかめもした 新聞世論等も示して布令の施行延期か撤廃を申し出る 権限では出来ないが主席の申し出は 本国に伝えるとの事。廿五日までには返事が得られるだろうとの事だったが見込なし

五時半頃ま(で)話して帰る 記者会見する その前に局長会議をもち、沖特委への陳情内容を作製「作成」する その荒すじは仲村局長より そして夕方私に届けてくださる。六時から中村団長の招待レセプションあり 出席する やはり与党側の出席なし。

一月十七日(金) 晴

八時 家内をつれて政府出勤す  
高等ベーム官の離任の為、四軍の閲兵  
分列式が桑江のバンビーヒ行場であ  
るというので急ぐ。もうけられた壇上  
の席に夫婦着席す 第一列は民政官  
夫婦、空軍司令官夫婦であった 二列  
目が主席夫婦 松岡夫婦等 三列目  
に瀬長夫婦等であった 定刻 ジー  
プに乗って空軍、海軍、マリン 陸軍  
の順で閲兵、その後分列行進であった  
それが終って ケーキをベーム官が  
切り コーヒーのふるまいがあつて  
間も無く出発さる。又肩の荷が一つお  
りる。これで段々なれていく事であろ  
う。

教育会館へ行つて、教育費獲得期成  
会を教育振興会へ切りかえる集りに  
あいさつ

十一時半 東急ホテルへ。 十二時  
過ぎから沖特委の政府主催晝食会に  
出席 一時間位 歓談す

私から一言ごあいさつ申しあげる

二時半 日教組婦人部来訪さる  
三十名位。はじめ私は喜屋武君 大湾  
ヨシさんの案内で見えたので、事ム職  
員の陳情と錯覚を起して にやけて  
御目にかかり はじめましてと冗談  
の積りであいさつしはつとする 日  
教組のバリ／＼の代表、三十分程あい  
さつ懇談、記念品もいただき記念写真  
をとって帰らる

三時から沖特委との懇談 私から  
二十分位、大綱の事、姿勢について説  
明する。結局当面するゼネストや布令

問題を落つかせる道はたった一つ  
本土政府の出方によると説明し且訴  
える

そして沖特委が政治的には是非取り  
あげてもらう事を強請する この事  
は後で再び訴え、委員長と八木副団長  
にも個人的に更に一考を促し、是非取  
りあげるとの事であった

帰って記者会見する。五時半から商  
工会議所 経営者協 工業連会 他  
経済団体主催の新旧主席の歓送迎会  
が沖配ホールであった 最後までつ  
とめる松岡さんのあいさつの後の私  
のあいさつ極めて明快なすばらしい  
あいさつであったとの事、平田忠義さ  
んくり返し絶讃さる。

今日 首里で少女がキビ畑の中で  
殺されているとの報にショックを受  
ける 而も暴行されたあとありとの  
事 申し訳なし 一度どうしても慰  
弔に行かねばならない、

一月十八日(土) 晴

A、P、記者インタービュー 桐和  
商会 大阪の業者 案内して見える  
かつて御世話になった事がある

分密糖関係の森根さん方外三名来  
訪 またまた頭がいたい問題を持ち  
込まる。十時から首里教育センター落  
成式あり、一時から二時 共済会一同  
来訪 退職金持参して見えた

記念写真等とる 二時過ぎ 身体  
障碍者大会出席祝辞、三時から古堅氏  
告別式 四時から亀甲、上原外全軍労  
役員三名と懇談する

五時から下関経済視察団のレセプ

九時過ぎに帰りマッサージを頼み、入浴してねる。

一月廿日(月)曇

シヨン、簡単にあいさつ それを早目に切りあげて与那原の私を励す祝賀会に出席する 安里さん 平良幸市さんも出席されたが孝全君は来て居なかった やはりしこりがあるようだ 八時過ぎまで出席し、大城君の督促でおいとまする

十一時から仲村局長、知念副主席の案内で各局視察、旧館は大体に於いてせまい感じで勤ム者は気の毒だ 今日はむし暑く厚着していたので汗びつしよりだった

昨夜よくねむれなかった為か今日は少し体の調子は悪かった。

一月十九日(日)雨

その後にクロバリープの晝食 中華焼ソバとスープであったがそれを食べてから急にむかむかして嘔吐を催した むか／＼して大変気分が悪く青くなつた 二時から特連の参事官加藤氏に会った

十一時頃休む。土曜日だが 松川に行けず残念。松川の内を考えると淋しい気持が起る。たえていかねばいけない。大きい仕事があるのだ。

本土政府への依頼を懇々話しておいた 気分悪し 公ム員会館の地鎮祭があつた 出席す 気分悪し、早目に帰り 記者会見して帰る 夜やはり気分悪し アンマを呼んでもんでもらつた

一月十九日(日)雨  
はじめて書斎の机に向つて新聞を見てまた綜合布令に対す感をまとめた NHKで国民向け放送の事 十時か一時 あゆみ書房大野氏来訪話を聞き録音して帰る

夕方正子さん 看ゴ婦さん 呼んで血圧はかる 大した事なし

一月廿一日(火)曇

朝 嘔吐する 気分悪し

一応政フ出勤 気分いよ／＼悪し 知念副知事に忠告を受ける

五時半 ヒ行場に見送りに行く。  
六時 松川の祝賀会、ヒ行機の出発が七時以後になるといふのであいさつを申しあげ 六時三十分頃帰りしばらくして家内と一緒に 松川の祝賀会へ行く、二階三階にわたつての会合であつた、花束を受け 御礼のあいさつを申しあげ 各テーブルをまわつて御礼をのべ三階もあいさつし、座間味村の祝賀会場 安里さんの所へ行く、ここもよい集り、一時間位で帰る離島の中で唯一に私の勝つた島だ

御尤もであるので後の事を頼み帰って休む 晝 古波倉さん 往診に来て下さる 外見は異常なしとの事、尿と血液をもつて帰らる。夜 知念副主席から 加害者が判明したとの報せ、ローア学校の生徒との事でショック、小嶺文教局長辞任 申し出あり

私が休んで居る事で皆が心配して  
電話多し、有がたい

一月廿二日(水)雨

気分やはり不調 今日も休む 知  
念副主席報告の為見える

今日は気分が段々とよくなる感  
晝 正子さん 看ゴ婦さん案内 注  
射に見える 有がたし

明日 高瀬大使 九時半来訪さる

十一時 民政官に会う事を約す

今夜はどうした事が頭がいたかつ  
た

夕方、正子さん御見舞に見える 今  
日は血圧が高かったらしい 頭がい  
たい理由が分った

一月廿三日(木)晴

十一時 民政官に会う 布令施行  
延期になった事の話だった 大体  
は既に分って居た 大した感興はわ  
かなかったが急場はしのげた 三月  
一日までに不満の条項を書いて民政  
府労働局に提出。検討し施行は その  
後に決定。カーペンター氏直接記者イ  
ンタービュー、後で私も記者に会って  
質問に答える それから政府に帰り  
各局長に経過報告し記者インタービ  
ュー、官公労幹部との話し合に一寸出  
席 副主席に追い立てられて帰って  
休む

夜 正子さん親子(順子ちゃん)看  
護婦さんをつれて注射に見える

朝樹、一彦も来た 体の調子良し

一月廿四日(金)晴

大城君と相談して休む、十一時前に  
知念さん、吉田氏案内して見える

しばらく話して吉田氏は高瀬大使  
の所へ行かる 知念副主席、宮里 宮  
城 糸洲も来訪 八汐荘 注文のス  
シの晝食を共にして帰らる、三時過ぎ  
川平の兄貴朝二 前屋良のカマルー、  
■屋良の朝助君来訪、しばらく話す中  
に平良辰夫さん見える 瀬底君の案  
内で。しばらく話し 夕食の粗食をさ  
しあげて懇談す、

正子さんの御世話で看ゴ婦さん今  
夜も見える 朝夫君が案内してくれ  
る。県民総決起大会あり、ひしひしと  
その波がおそいかかって来る感じで  
ある。今日もこうして 一日休む、尤  
も秘書決裁書持参、決裁する

今日は公舎でいろ／＼の方と話し  
合いが出来て無駄ではなかった

一月廿五日(土)晴

今朝は早く目がさめた、今日は公舎  
でいろ／＼の人々に会いたい、副主席  
の御好意もあるのでそれに叛いて出  
勤すると悪いと思うので公舎勤ムと  
いう事にしたい。朝、大山朝常さんに  
電話九時に安里積千代氏来訪、引つ  
づいて大山朝常氏来訪 宮里松正氏  
来訪 大体出来得れば スト回避で  
意見一致する

日本経済新聞記者 外二名来訪イ  
ンタービュー

安里、大山、宮里氏等は高ベンに会  
った後に上京するようすすめる、その  
時には与野党代表、大山市長、出来得

れば 経済人代表も一緒にしたらとの事も話し合った

晝は大阪屋に散髪に行く

二時半 古堅氏来訪、同時に茂治氏健明氏 南風原さん来訪、その前に晝頃 池原君 兼島 喜ヤン氏 大城さん見舞に見える

三時半 崎山氏来訪 四時半頃まで三名で話す

局長夫人方初会合あり、文教局長夫人外全員見えたとの事 夜は平安君に電話 松川へ行って見たいとも思ったがつかれ気味で休んだ

昨今の私の心の悩みは何とも云えない これは一人で考えの静まるものではない しかしどうしても耐えていかねばならない試練だ 人民党社会党はどうしてもゼネスト成功させると云う

私としてはどうしても起らなくてすむ様にしなければならぬ

その為にはどうすべきか 道はそう多くはない 命取りになるかも知れない それもよい しかし道は必ず開けると思う、その方向に私は刻々追い込まれて行くようだ。

大東亜戦終戦前後の日本首脳の心境に似たものがある 一人では只只思い悩むだけだ これはやはり行動の哲学以外に救われる道は見出せない 元気を出して動き出そう。

一月廿六日(日)雨

砂川君 バンコック行く あいさつに見える 学研社員二人 あいさつに見える 教育賞授与の為来県さ

れた方々。家内は新島さん方と買物に出る

糸満励す会祝賀会あり 私は行けない 知念副主席が見えるとの事 しかし局長会ギとの関係はどうなる事か

平川さんにも依頼行つて下さるとの事 糸満の大湾さんに連絡する特に私の為に働いて下さった 恩のある御夫婦 出来得れば行きたいがこの心境では 今は無理だ。

二時から局長会もあるとの事

二時から人民党大会にあいさつに行かねばならない

三時から宮里、福地君も来てもらっている 五時から読谷の五役も見えるところ、とにかくあわただしい

宮里氏 福地氏によってブレインの候補者示される 兩人にその案をつくる事を依頼し副主席に話してもらう事を頼む

屋宜君に案内されて古堅の親せきの方二■ーマシン業者仕事の件と同業者組合のメンバーと警察当局と話し合いの機会をつくってもらう依頼あり 私から直接警察当局に話かねる旨をつげ宮里ベンゴ士に依頼する事にする

七時から松川へ、朝夫 和子さんと夕食を共にし、一彦一家も来て応接間で二時間位水入らずで談笑して久し振りにだんらんたる気持になって愉快だった

十時頃 朝夫君の車で帰る 一彦ちゃんも玩具をもって親子一緒に乗

って来た そのまま帰る

一月廿七日(月)雨

吉田嗣延氏来訪、知念副主席と一緒に話す 上京の事について東京に電話 高瀬大使に電話 岸所長に会って意見を聞いてくれたり大立ちまわり後で大浜先生にも連絡 木村副長官 総ム長官方と話し合い私の上京にそなえる準備もしてもらって有がたい 総ム長官 外ム大臣には会えるとの事、総理には未定、官房長官ではとの事だった様だ どうなる事かと思う 晝は美栄で吉田、知念 金城 仲村、私で晝食会

二時から大城君と空軍司令官ページ少将に会いに行く 民政府ゲードック氏の案内 約二時間話し合ったが何等新しい状況らしいものは見出し得ず 聞き出し得ず 結局この気持ちをつたえるだけで終り。

午前中に自民党の三役に会う また子供を守る母親の会の方々三名に会う

ゼネストをさせてもらいたい あるいは高校生の参加はやめてもらいたいとの要請あり 副主席もこの件では参加絶対に反対の意向

七時頃まで決裁をすまして帰る

一月廿八日(水)晴

八時半出発 高等ベム官来島 嘉手納空港に家内も一緒

十時二十分着 九時半頃着いてしまつて早過ぎた。双発機も小型機で到着就任閲兵、あいさつ、出迎えの人々

に握手、あいさつ、先ず誰よりも眞初めに 私共夫婦に握手、あいさつ、思いやりのある温い学者タイプの紳士であると印象を受ける 藤田さんに案内 高等ベム府 構内のレストランで御茶の接待、一時四十五分から就任式 家内も軍人担当官に案内され下の座につき 私は仲村牧士「牧師」に先導されて壇上の席に 仲村氏と軍の牧士「牧師」と私の登壇した所でカーペンター民政官に案内 ランパード高ベム入場 立つてアメリカ国家「国歌」、次に仲村牧士「牧師」の祈祷、民政官のあいさつ、任証式次はベム官のあいさつ、度々屋良主席の名が出て 私の事に話が及ぶと私に向いて話す 非常にきめ細かく気をつかっている事が分った あいさつも中庸で良かったと思う 復帰も云ったし復帰態勢づくりについてものべて居た 終りにアメリカ人牧士「牧師」の祝辞で終り 降壇し帰る OHK にインタービュー 一応内へ帰り 晝食をすまし 三時前に高等ベム官府へ表敬あいさつへ。

三時から三時廿五分まで。迎えのあいさつも交し B52 について意見を聞く 前高ベムと同じ考えとの事

後で佐藤総理の演舌から例をとりゼネストを収めるよう間接的希望があった 高等ベム官には所見の外に B52 の移駐説についても聞く、得る所なし

五時過ぎに政府に帰り記者とインタービュー 知念 吉田氏 仲村氏と話し、五時に帰り、出発準備 決裁

をすまし、正子さんに電話で連絡し七時頃出発、貴賓室で少休

見送人 各局長や夫人方、教職員会代表、茂治君 各組織代表等、出発前に激励あいさつ。政府の連中に説得されぬ様、勇気をもってあたって来いとのけん制ではあった

八時十五分出発、日航 処遇心をつかってくれた 二時間後につく、やはりはじめに降り記者方のフラッシュをあびる、立石さん また見守りに見えていた 雨が降っていた 日航の用員に案内され貴賓室へ 記者インタービュー グランドホテルへついた時は十一時過ぎ。三木記者外一人来宿、知花英夫氏来宿 しばらく話し模様を聞き、後で朝日の坂中氏外二人来宿、一時頃まで話して帰る 一時頃ねる

一月廿九日(水) 雨 雪も一寸降る

七時十分 日本放送 電話インタビュー、八時半出発、山野局長に二十分程今日の事ム官僚的議論である 九時から床次長官 両副長官 特連局長 仲村氏と話す、近い内に B52 は撤去する感觸の話しあり。副長官は私にこれを「捕えろ?」という心なしの事

一時間位話し、南援で淵上先生に御目にかかり十一時から愛知外相と会う、やはり最善の外交努力をしているといい、B52 の撤去についてはアメリカも気運が動いている 近い中に撤去を考えているらしいとの表現あり 両大臣から撤去の時期のメドを

引き出し得ず ホテルで晝食

両大臣の話 メモを整理 昨日から今日にかけての日記をつける 記者(二人) インタービュー 三木君来訪

五時十分前に総理官ていに。

五時頃から約一時間 総理、官房長官、副長官、特連局長立合いで会う 一時位話したが何等出て来ない

言ってももらえず 只県民の意志を体して今後も折衝していくという丈である これらしいものは出ないので外ム大臣の話の要点を私から逆に話して意見を聞いたら総ム長官外ム大臣の意見は政府の考えだと云うだけだった

がっかりして辞去、内閣記者クラブでのインタビューでもやりようなく結局外ム大臣の話をくり返し時間をつぶす始末であった 何も出なかったのは残念であり また見込違いであった 然し何れも私を説得するだけの発言もなく デモ、スト否定はくり返していた。結局私に押えてくれと云っても条件が出来なければどう仕様もない事だ

それに対しては責任は感じていないようだ

夜、共同の高橋さん 朝日の坂中さん 大森論説委員 外一人来訪 夕食懇談、偉い権威の前でしゃべり過ぎ恥じ入る 要注意 静かになる事

十時頃入浴し休む。

高橋さんの御世話で木村副長官に明日会う事 九時半 自宅で。

一月廿日(木) 雪

朝八時四十分出発、世田谷の木村官房副長官の御宅を訪ねる 相当雪が降る 一時間位話して下さる タイのヒ行場が六月に完成、パリ会談、ベトナム戦はおそくとも七月に終る そうするとB52基地はおそくとも六、七月までには撤去されるだろうとの見通しとの事 若干の前進のあるものにありついた感じ 木村さんは相当自信のある見通しのようであった 十一時過ぎ辞去してアメリカ大使館へ行きオズボン氏に会う 新味の事なし

十二時帰宿 記者インタービュー せり沢君来訪、晝食を御馳走になる 山野特連局長室屋で一時から話し合う

この年を復帰の年たらしめるために全力をつくす態勢が望ましいとゼネスト回避を要請していた後で藤平 ■三郎氏 来訪 鯨岡総理府副長官 来訪 御兩人 ヒ行場まで行かれた 由 恐縮する 深見 ■君 三和銀行 当局を案内して表敬あいさつ、四時半 記者インタービュー。五時から文教商 事 山川端山君案内 スエヒロでスキ焼夕食会 七時半頃出発、羽田に向う 日本航空貴賓室で待たしてもらう、立石さんの御計らいによる 警官 二名で看守してもらう 九時半 出発 十二時前にナハつく。

御迎えの人一ぱい 記者インタービュー、各局長夫婦、正子さん、家内 朝夫君等 それに 組合関係者一ぱい 夜半の盛大な御迎え容易ではな

い、組合の方々は最後まで御苦勞を拍手で送って下さる

皆に満足してもらえる様な土産が無かった事は残念である。内へ帰り一時半頃から寝につく、因果な仕事である胸さわぎたえず、でもたえて行かねばと思う

一月廿一日(金) 雨

朝ねして、十時出勤、吉田さんと話し、大統領、国務長官、国防長官にゼネスト回避電報要請をする 十時から局長会議

十一時半高ベン民政官表敬あいさつに見えた 短い時間に米本国への要請電の了解を得る

高良議長 来訪 県労協役員来訪、社会党議員団 大山コザ市長 何れも心配して来訪さる

十時から一時半まで局長会 四時から再び局長会議。全局長ゼネスト回避に異議なし。知念副主席に回避要請文をつくってもらい これを了承して直ちにプリントに附し 亀甲君、仲宗根悟君に来ていただき 回避要請文でスト回避の申し出をする、多くを話し合いの必要は無かった 間も無く両君は協議に移る為に引きあげ、記者会見をする

仲村局長に要請分を読みあげさせ質疑を受ける

共闘会議が如何にこれを受けるか 今日の中には結論は出ないので局長会議は解散し、私も帰る、ライスカレーの夕食を内でとり入浴し休む

十二時前になって居た

二月一日(土) 小雨

朝ねする、九時に出発、週間朝日のカメラマン来訪し出かけるところを写真をとる。

今日は午前は客無し。

宮城企画局長、予算の見通しについて話しがあった

吉田嗣延氏来訪 木村副長官から御礼の電話あり、方々よい結果がある様に期待して居る様子だがそう樂觀は許さない

喜屋武君から電話あり、急いで帰るべきと思うが皆に不安を与える事にならないかと心配さる

共闘会議 幹事会難行、転々会場をかえているが急進的分子により会場を取まかれ亀甲君等が窮地に追い込まれている由 心配であり不安である。励す会の婦人活動家の方土井土井(中) 豊 方 三、四〇名御集 今中は十日内で待■。り 盛会だった これが二回目だとの事

私も後で顔を出してしばらく話し合いをする その中にゼネスト回避の説伝わる 安心した しかし本決りではなかった 亀甲君から電話はあったが安心して休めとの事だった。

二月二日(日) 曇

今日は終日内で待期「待機」す

一彦君一家、朝夫妻 来訪、記者諸君が二、三度にわたって訪ねて来た。ゼネスト回避は今朝未明決ったとは云え、今日再び検討されるとの事で不

安、教職員会も大もめ。

喜屋武君帰る 夕方までもみ、夜おそくから共闘会議幹事会があったとの事 そこでゼネストは回避 一時からスト集会が嘉手納総合グラウンドで決行と決った由 いううつ「ゆううつ」の日が終日続く

夜 山川厚生局長 来訪、吉田嗣延氏 金城君 来訪 今日 スキ焼会の予定だったが延期する

二月三日(月) 晴

十時半からカーペンター民政官に会う、ゼネストの経過について話し、二、三要望をつたえ協力を求める 九万五万弗の援助金受領する ゼネスト回ヒにはくり返し感謝の意を表明していた 局長会議、記者会見する

官公労のスト参加取扱いについて話し合う ○午后からの休暇を取つての五割参加と云う事で仲吉君と話し合い 各局で業務に支障を来さない範囲で認める事にする

琉大、沖大、国大の学生六〇〇名と儀に集りデモ 五時前に政府に着 屋良主席だんがいを叫び私に会見を要求する 仲村局長応答するはじめ六名が さらにふえ六〇名位となり騒々しい

抗議文を手交するのではなく大衆の前で自己批判せよとの事で拒絶する 木時 家内からも心配して電話あり 六時過ぎ こっそり 裏口から抜け出して帰る 刑事数人来室 身辺を守る 教職員会や政フ職員の方 三、四〇名集り、結局学生は会わ

ずに帰った

糸洲局長 大城君 刑事二人 同乗して送ってくれた。後で 機動隊五〇名、門で待期「待機」 ゴ衛との事だった。七時頃解散したとの事で皆引あげた

仲村栄君後で来訪 しばらく話して帰る 正子さん、心配して来訪、十一時半頃まで話して帰る 直ぐねたがよくねむれた様だ。

「中略」

二月五日(水) 晴

六時半 日本放送から電話あり

タイムスの記者席に変な記事が出て知念副主席激怒さる 尤もな事で私も心配している 無責任の記事を書くので新聞に困った事だと思ふ 知念さんの傷つけられた気持が何とか収まつて呉れたらよいがと思ふ。知念さんのような純粋な人の心を傷つけて申し訳ない 今日五時から吉田氏を囲んで局長懇談会あり 於 公舎。

二時から平良さん、平川、金城さん 茂治君 喜屋武君 源さん 正子さん 励す会幹部理事の方方と四時半頃まで懇談す ゼネスト回避の経過について御話し申しあげ意見交換する 公舎での吉田氏を囲んでのスキ焼懇談会は山川局長以外皆見えて愉快に九時頃まで懇談する。

今日はタイムスの記者のメモで副主席カン／＼に怒り大変心配したが何とかおさまって歓談してくれて安心した。今までこの様な懇談会がつく

れなくて申し訳なかった

早目に床には入る

二月六日(木) 晴

朝、砂川局長に会い 稲嶺さんの東洋石油の事聞く 後で稲嶺さんも見えて説明を聞く 民政官にその件で会ってくれとの事だった。

局長会議。企画局長に物価問題について対策を聞く

準備しているとの事 企画部に住民生活課設置しそれによつて対策を講ぜしめるとの事

総評 全国事務局長会議あり 教育会館で。あいさつに上る 堀議長 岩井事ム局長に会う 帰りに元会長室で教職員会の会長はじめ皆さんに会い 久々に心和む ソバの御馳走になつて帰る。池原君に来てもらつて安里君か金城君を採用出来ないかについて検討依頼する。

中教委要請、全員、記者会見 神山先生来島 家内お迎えに行く

二月七日(金) 曇

仲村局長に立法院送付の案件急ぐ事依頼 労働局長へ綜合布令の研究検討を急ぐ事を依頼する

十時、十二時、警ム所視察 渡嘉敷所長はよく管理している 警ム所の近代性についてよく分つた 環境美化所謂環境整理 環境文化の建設よく分つた 庭もきれいにして理念をよく実践して居た 警ム所は数年事件も起きていないとの事

敷地がせまい 設備が不備 警ム

所にとめていている職員にも感謝の氣  
持で一ぱい

独房も見せてもらった 作業も見  
せてもらった 未済囚も見せてもら  
った 少年警ム所も見せてもらった  
そのクラブ活動も見せてもらった  
きびく／＼している話も聞いた 「私の  
母」「希望は大きくもて」むしろその  
態度には私のたましいを洗われる思  
い 最後に死刑囚も見た 死刑執行  
は主席が命ずるとの事 氣が重くな  
る

一応内に帰り晝食 三時から高等  
ベンム官に会う 五時まで約二時間  
ゼネストの経過今後これに因む問題  
の解決について話す B52 撤去  
原子力せんすい艦の入港中止

綜合布令等について。協力は約した  
が問題解決には前進は見られず 権  
限の上からは仕方ない事だ カーペ  
ンターも一緒だったので稲嶺さんの  
石油問題も話しておく どうもエッ  
ソの方に歩がある印象だ。帰って記者  
会見

早目に帰る 与儀公園で復帰国民  
大会あり 電気マッサージをしても  
らう 早目にねる。

## 二月八日(土) 晴

日光館に神山先生訪ね、政府に案内  
副主席、総ム局長等としばらく話す  
次々と客あり エッソ関係者も来た  
記者会見

神山先生と晝食 一応帰宅(於 美  
栄。)

六時から国民大会閉会式 那ハ中

校であった、出席しあいさつする

## 「中略」

## 二月十日(月) 雨

石油国際入札はエッソーに決った  
由、その事について副主席に私の取る  
べきことについて相談する、十時から  
警察局巡視する 十二時近くまで局  
長に説明してもらい重点目標を聞き  
鑑識課等あちこち見せてもらう。三時  
からカーペンターに会う 援助費一  
七八〇万弗の契約 あと一二〇万弗  
の取あつかい残る 教職員給料費  
五〇〇万弗から三〇〇万台に減少す  
る その理由を聞き忘れたがこの次  
に会う時に質問する

## 記者会見あり

国際入札について質問あり ベン  
ム官にも民政官にも話した しかし  
既に外貨導入許可されている 今  
私としては余り深入りも出来ない現  
状だ。帰宅の途次 沖縄三菱電器KK  
の発足祝賀レセプションに出席する  
平田さんにも会って祝いをのべて三  
十分位居て帰る

## 二月十一日(火) 晴

厚生局長と原部長 外一人来室、医  
療保険制度について話す、九時から検  
察官の合同出席訓練を■む

引続き山川局長方と話し合い 厚  
生局重点政策についても よく準備  
するよう勧告する

尖閣列島調査の件で本土政府より  
係官二名来 砂川局長の案内で来室

内へ帰って晝食、一時半頃 近藤一房氏 瀬良垣君 翁長氏の案内で来訪する

お土産と拾万円の目録贈呈を受ける 図書寄贈との事 台湾からの帰りとの事

大宜味 稲福、山城 ■医師

医療保険の問題について意見をのべに見えた 一時間位話し込まれる。記者会見

煙草の脱税取しまり 要請あり 早速 糸洲局長に指示して対策をたてさせる。

検察官 懇談レセプション五時半 六時から全テイ「全通」組合の方々(本土から見えた人)のレセプション 於、沖貿ホール。集った女の子等は握手を求め 写真をとり、サインを求める 等 流石にてれる

## 二月十二日(水)晴

今日は十二時に第一記者クラブの諸君と八汐荘で晝食会あり 副主席と情報部課の諸君が加わる。四時から公社前の放射能検査所視察 直ちに那ハ港の泥を取り出して調査出来るとの事である。今日は早目に帰る

私の話集 出版するとの事で福地君と出版社の方が公社「公舎」に見えている 私は気が進まぬがここまですすんできている以上ことわれない残念である。

今日からメモの整理始める。新聞に屋良政権悪評ザク／＼。気が重い 心にかかる懊悩の日続く、負けてはいけない。

## 二月十三日(木)晴

局長会議あり 十時半 青少年育成協研修会 あいさつあり。十二時半 美栄で正子さんの御客さん 東京の清水さん婦人会事ム局長方との晝食会に行つて晝食を御馳走になる 諸会談メモ続ける。 神山さん六時二十分 帰京見送り

六時半から三輪「三和？」銀行 朝長専ムのレセプションが琉球ホテルであり、出席、乾。パイのあいさつを頼まれていたので夕食会の最後まで残る 気分が少しさわやかになった その時は食欲も出る ストレスがいない それをなくするには人に会う事だ 話す事だ。

## 二月十四日(金)晴

朝 十分位徒歩運動をする

人事委員会から公ム員災害補償法の立法勧告あり 散髪 大阪屋で午前中。帰りに学院に寄つて見たいと連絡したが名護に出かけて不在だった。

日本航空社長 来訪 港灣倉庫賃の件陳情 真栄城玄■会長

三時から五時半 農林局長 三部長との懇談 九時―十時 各局部長会であいさつする

有意義だった。五時半から教育振興会発足、大会があった 於、那ハ教育庁ホール激励あいさつ。七時頃から日本航空十五周年レセプションが東急ホテルであった 出席す

二月十五日(土) 晴

脱税、押収品が那ハ税関所に積まれている由 見に行く、トラック四台分  
フイリッピン人二人が大元、沖繩仲買  
人十名内外との事。驚きだった 充分  
取締らねば。十時頃から主税局長部長  
との懇談をした

十二時半 エヂソンデー科学作品  
受賞式あいさつ、三時、電力公社 十  
五周年式典祝辞 四時 記者会見。四  
時から綜合布令研究会をはじめ  
七時帰宅 夜、アンマ頼む 松川に行  
って見たいと思ったが誰も居ない  
正子さんに電話したが不在  
後で朝夫夫婦が来てくれて懇談す  
る

二月十六日(日) 晴

午前中 内でメモ整理

一時から川平、宇座へ 朝夫君の車  
で朝樹、一彦ちゃん一緒に出かける、  
川平は阿波根さんや直頼君も豚をほ  
ふる手伝いに来て居られて夕方まで  
話し合った 久しぶりの事だ。感深し  
夕方になって更に東桃原によって帰  
る 松川に行つて家族夕食をとり十  
時頃帰宅する

二月十七日(月) 晴

午前中 企画局との話し合い後で  
庭で晝食をとり登庁する 新潟県の  
方、長野県の方 長崎県自民党婦人部  
の方次々と会う 二時からカーペン  
ター民政官に会う 放射能の件、脱税  
行為の件、沖繩船員ベトナム行き  
の件 ボンド■の件等数件について話し合

う 記者会見長崎県婦人部(自民党)  
会見

長野県傷イ軍人会表敬  
新潟県議長 市長方表敬

二月十八日(火) 晴

労働局との話し合い 於 公舎  
新潟県旅行団へのあいさつ、参議員調  
査団迎え、午〔後〕一時参議調査団 表  
敬あいさつ 全国農業改良■■■事  
ム局長代表 表敬  
京都会議 出席者報告記者会見  
四時から瀬長、古堅氏と懇談 四時  
↓七時、後で古堅氏と夕食、婦人の  
方々公舎へ来訪 源先生 教育委員  
立候補の件 宮良君も一緒に来訪

〔中略〕

二月廿日(木) 曇

建設局の工事現場 施行者国場組  
の水溜りに坊やおぼれて死ぬ報あり  
詮じつめれば政府のかんとく責任で  
はないかと思ひ気が重い こう云う  
時にはどうすればよいか悩む。

局長会議 重要問題があつたので  
私も出席す、公議員共済組合法の制定  
で悩む、ずっと以前から考えていた通  
り 本土に準じておけば良かったの  
だが。その見通しも立て得ずに現在の  
状態に来て今から本土と異なる法形の  
制度をつくるとはどうもひつかかる  
ものを感じる

午後 法ム局勉強会あり 216  
六時半から与党連絡会 十時まで。税  
の落込みについての実情と対策

事業は決行する事にする、金策が大変だ。恐ろしい山にさしかかった。試金石として立ち向う事にしよう。夜中野先生に電話

二月二十一日(金)晴

工連幹部、長野県青年団要請や談話  
インタービューあり  
主席公舎で厚生局との勉強会 午前中  
三時から秋田 杉苗を贈った事であいさつに見える。中野先生訪問  
記者インタービュー  
早目に帰り 松川に行く

二月二十二日(土)晴

愛知総評 来訪  
中野先生 来訪  
公舎で文教局との勉強会  
家内は局長夫人の集い 南風原へ。  
新島さん午後四時半来訪 夕方松川自宅訪問  
カトレヤの手入れをして九時頃帰る、カトレヤの手入れは二ヶ月振りである。

二月二十三日(日)晴

十時四〇分 中野夫人 宮之原委員長 来県 迎える 八汐荘で昼食会  
六時半 源河さん宅 結婚式に出席 家内は■ノ会表敬 料亭ナハ  
中野、宮之原先生歓迎会に出席

二月廿四日(月)晴  
通産局との勉強会

宮之原さんはじめ一行の表敬あいさつ、十二時 米人牧師会 於 ハーバービュークラブ、あいさつをする、二時から少年院視察へ

視察

雨降りでぬかる事しきり 長ぐつをはいて巡視する。収容少年も他県の三倍位の率との事だ  
地の利を得ていない。管理のむつかしい地形だ。そして見るからにあって雑然たる感じ。ローヤの中で生活している男女少年等を見ると胸がいたむ。そこで働く職員もまた御苦労の限りだ。いたわってあげたい  
六時から教研参加代表教職員激励慰労レセプションあり 二〇〇名位来てくれたと思う。八時頃帰る

二月廿五日(火)曇

警察局との勉強会あり  
警察行政も社会不安をなくする為に大事な課題である  
十一時半 公ム員医師代表と懇談、一時から教研集会 あいさつ大分充実した集会だった、内容も深まった感じ  
中野、宮之原先生 列席、  
三時半 タイムス芸術賞授賞式に出席 祝辞

記者会見 一応内へ帰り美栄で中野、宮之原先生一行との夕食会あり、ケチノゝした御馳走で貧弱だった申し訳なかった。市町村議長会長の激励会(主席副主席以下各局長)あり、栄町、四ツ竹 八時↓九時。

二月廿六日(水)曇

頭を痛めている問題は去る

二、四の抗議ストにおける教員の取扱いをいかにすべきかという事である。これをこのままにしておくとそのれに対する批判と今度のしめくくりを行政府としていかにあるべきかが難問として残る、また措置すれば従来から変らないとするつきあがある。知念副主席、岸本法ム局長は賃金カットは当然と云わる、何としてきた事か。また 新しい問題 宮城島近海の漁権ガルフ社と関連して起る、読谷、嘉手納の黙認耕作地の問題、那ハ市公会堂入札に関する軍の介入干渉の件等限りなし

二時半から六時過ぎまで建設局と勉強会あり、これで一通りは終った。また不充分の所あり。

二月廿七日(木)曇

局長会議が午前中あり

福地君 喜屋武君に来てもらって、二、四スト 高教組や完全スト 実施の教職員の取扱いについて意見を聞く、二時から五時半頃まで局長、政党連絡会議あり、人民党から質問のあつた諸問題について話し合いあり、余り問題が多くてそれだけにやるべき仕事も多い したがってやり甲斐もある様な気もする 対日米関係未解決の問題が多過ぎる

家内は五時頃から川平へ姉の七三生年祝いへ行く、私は知花英夫氏としばらく話し、松川へ鉢を取りに行く、

東恩納さんに運んでもらった。朝夫朝樹夫婦としばらく話して帰る

夜 鉢を台にならべる

二月廿八日(金)晴

九時半 カーペンター民政官に会う労働局長を伴い総合労働布令の撤回を求めた、気持よく会って要求を聞いてくれた。しかし撤回も困なん、間接コ用も困なん、三十項目の点を改善し解決したいようだった。当方としてはあくまでも撤回をと要求 記者会見

十二時前に宋泉璋君 すばらしい屏風を祝いの品に届けてくれた。実にすばらしい逸品だ。勿体ない品だ。之こそ国境を越えた教え子等の御好意の私に寄せるすばらしいプレゼントである

宋泉璋君に会い この品を贈られ感無量である。教え子等に何も為し得なかったと思うがいつまでも忘れずにこのような好意を寄せてくれるその私は幸者である。これに元気づけられ勇気づけられて。これに報ゆる仕事をして行かねばならない。ほんとの家宝を贈られた。教育者の誉れとし台湾の思い出として永遠に家宝として保存していかねばならない。記念すべき今日の月も廿八日。また永遠に忘れられぬ日である

台湾の教え子等よ。ほんとに有難う

三時から教委協総会に出席し。あいさつ、そのあいさつの原稿づくり甚だスマートではない

三時半から官公労代表との勉強会あり、行政事ムレベルは全然変りばえがしないとの事。いろ／＼苦情もあり要請もあった、家内を案内し屏風を見せて香和に行く 副主席夫妻 中村局長、大城君 向うは宋君 劉氏 徐氏 福原氏 大変おいしい料理だった、長時間歓談する。

### 三月一日(土) 雨

ついに三月となった 緊張感加わる感じ、安次富君 帰任する、あいさつに見える 西ヨーロッパまで行つたという 彼ならでは出来ない旅行をして来たようだ。大成する器だ。

独乙のテレビ記者インタービュー、二時から与党との連絡会、四時半から琉潭同窓会祝賀会 於八汐荘、出席、六時前に 一応松川に行つて花を一鉢持参 六時十五分 公舎に帰る 連絡会やつと終る所。六時半 宋君一行来訪、直ちに夕食会始る 美栄さんの御世話による 九時頃まで歓談して帰らる 朝夫 和子 朝樹君一緒 家内 活動者会の集り おいとまする 夜 豪雨

### 三月二日(日) 曇

花の手入れ。十時から散髪へ 午前中に帰り 支度して待つ 二時半 高弁ム官夫妻 サンキー夫妻見える庭を見てもらいお茶の接待にあずかつて御一行は帰らる 後に仲宗根さんはじめ三人桃子ちゃん母子(又吉さん)も加わりしばらく懇談、朝惟君夫婦も来訪 夜はスキヤキの夕食、昭洋

君も来てしばらく遊んで帰る 電燈が消えたので十時頃からねる 昭洋君帰る

### 三月三日(月) 晴

十時 読谷高校卒業式に出席し告辞、目が悪く告辞を読むにもバランスがくずれる

昼食をとり、帰る。

一時から北中城の少女事件の現場を見 さらに家族慰め励す為に総ム局長、警察局長と一緒にしかける 屋宜原の犯行の行われたと思われる場所を詳細に説明を聞く 直ぐ道路(農道)沿いのジャングル(カヤの中)である 而も住居に近い所である

こんな所で恐ろしい犯罪が起ったかと不思議である、恐らく若し殺されたとしたら運び去られたのだろう公民館で母親に会う。気の毒で何とも云えなかった。荒んだ社会のギセイ者だ申し訳なく思う 帰って記者会見変った事なし

今日は六時半から主席公舎でランパート高等弁務官夫妻の歓迎会あり、三〇〇名位の集りで盛会だった。天気は良かったが雨の後で庭の芝生は湿つてふみつぶして残念であった。八時には大体終り、九時頃まで若干の人は残つて居た なお知念夫人 宮里夫人 宮城夫婦 応接間でしばらく話して帰らる。

### 三月四日(火) 曇

脱税行為取締りの件で財務警察、税関三者打合せ、関係者が近い中に計画

を用意して打ち合せ会をもつ、先ず根を正す事、政府、官庁、職員、中央地方ともに自しゆく公文を出し 一般にポスター、ビラ等を配る事等も話し合われた武見会長、小林先生来訪。市町村会長陳情。記者会見

喜屋武君 大島君 来訪する  
屋宜君 豊年君来訪

七時から広島のテレビ記者インタビュー聞き方が上手でなかった。

### 三月五日(水) 晴

八時半 平良市長との対談がタイムス社であった 午前中 自治大学長 離沖あいさつに見える、朝日新聞の益田さん来訪、副主席、砂川局長と外資導入法の事で勉強会

宮城局長と予算対策で話し合い。五時半から宋君の社長 王民寧氏の招待、夫婦出席する 砂川氏 安里氏 平川先生等 八時半頃まで懇談する。

### 三月六日(木) 晴

八時四五分 民政官と会う

第四種コ用者の取扱い、平安座島の漁業権の件、外貨導入法の件、十時二十分 警察学校卒業式 あいさつ局長会

記者会見 二時から政党連絡会あり、宋君帰る 家内が見送る。二時から政党との連絡会議あり、主として収欠陥についての対策に終始する。会の持ち方も整理されていかねばならない。六時頃終る 今日では之で終り

### 三月七日(金) 晴

十時、民政官に会う、分離発注の件、税落込みの件

記者会見 二度

五時から宮里、糸洲、平良、上原、岸本、福地、中村、副主席等と話し合い、悩み多く考え足りない事のみ、元氣を出して 頑張ろう

### 三月八日(土) 晴

九時から鑑別所視察、十時半鑑別所の子供等の生活環境 気の毒至極、勤ム職員のご苦労も大変な事。

宮城仁四郎氏来訪 十一時半 警察局長 本部長との話し合い、三時半から母親母教師大会 夕方 儀間君結婚式あり

### 三月九日(日) 雨

十一時 マラソン大会開会式 眼鏡購入。十二時 朝日新聞 益田常務外二人、晝食会

一応内に帰り 四時 糸満PTA大会、夕方中野好夫先生夕食会あり 流石革新思想家だけに庶民的。

糸満に行く前に宮里栄一さん御父上逝去 悔みに行く

その次に正子さん訪問して見た 又吉君の弟(アルゼンチン在)も来訪していた

### 三月十日(月) 雨

大山コザ市長来訪、丁度好都合、彼も話し伝えておき度い事があつてとの事だった しばらく話、夕方六時か

ら公舎で話し合う事とした 今日も記者会見あり

宮里栄一氏尊父護国寺で告別式あり 四々五 夫婦出席 焼香、弔辞読む。帰りに正子さんを同乗、御宅へ送って直ぐ公舎へ帰る 外資法 今日から施行

またいろ／＼むつかしい問題起る？

### 三月十一日(火)曇

失対関係 組合の方 糸満より陳情 北部老人ホームの件 陳情あり。早川代議士来訪 表敬 大浜先生、来県。迎えに行く。

二時四五分 大浜先生来訪、一時間位話して帰る、埼玉県青年団 大挙来訪

家内 夕方 正子さんさそい音楽会(バイオリンスト、盲目)琉球新報ホールへ。私は六時半から大浜先生と夕食会 ホテル香和。夕食大変拙かった。歓迎夕食会としてはお粗末だった。

### 三月十二日(水)晴

昨日ドシャ降りの悪天候、昨夜は風立ち強し、今日は晴れ上っている。御客、ひんぴん「ひんぱん？」。

中川伊作先生 はん画家、来訪 博物館に茶室建設の世話をして下さっている 京都、裏、表両千家から六万弗寄贈で出来るとの事。私の似顔を書いて下さった 三時頃から厚生局の勉強会

五時四〇分 琉大伊波教授来訪。昭洋君公舎に来て泊る 今日寒くな

り為す事もなくテレビを見て過す。

### 三月十三日(木)曇

局長会議あり。

一時に実ム学園視察、園長はじめ関係職員の苦労は大変なもの 子供等の実体を聞いて心が暗く気も重くなる。めぐまれぬ精神状態の子供等 気の毒でたまらない 次いで児童園へ行く精ハク児で非人間的存在もあると聞いて驚く。ここで働いて居る園長はじめ職員にも只頭が下る。厚生園訪問、生年祝いに出席する どうも世の中は不公平に出来ている、どうしてそんなだろうか。五時から外ム省の千葉北米課長に会う、約一時間位話して帰る 別にこれという新しい話はなかった アメリカとの返還交渉は大変大きな外交交渉であると。十一月のトップ会談で大づめにもっていく為にはそれまでに周囲から包み込んでいく外交を展開していかねばならないと云って居た

記者インタビュー 後で興業銀行副頭取一行のレセプションに出席す 七時過ぎ辞去し、幸楽に私学関係レセプションにと行ったが既にお客は帰られた後と云うので出席せず 帰る、昭彦君が今日も泊った 今日、三時一五分 〇〇の遺体が田港山入口の山地で発見されたとの事、丁度二週間目実に惨酷な犯罪である 社会悪の犠牲となって惨憺な最後をとげていた 〇〇さんが気の毒でたまらず 又母さんの心中察するだに断腸の思いである 私共も当

局として大きな責任を感じる 対策を講じなければならぬ  
■ちゃんの冥福を祈る

三月十四日(金) 晴

上訴裁長官来訪、共同通信の方、来訪、科技次官表敬あいさつ。  
■犯人あがる 沖縄出身の■という二十才の青年 米人らしい、十中、八、九「十中八九」そうだとの事を聞かされて居たが大きな狂いであった。むごたらしい事をしてくれた沖縄青年、いかに社会悪の所産とは云え許せない犯罪である 当局も学校の先生も世の父母方も真剣に対策を考えよう  
農連幹部の強い要請あり。砂糖問題と肥料問題。

十二時過ぎ 恩納の電波追跡所披露宴に出発する 恩納公民館であった 東京 科学技術庁本部長や政務次官が見え、表敬あいさつにも見えて居た パーティーを終え ■告別式に出席す、社会悪の犠牲になって果て あの様な悲運の最後をとげた幼い子 ■  
■「どんなにが苦しんだのだろう また恐怖した事だろう、そして母親の心情を思うとまさに断腸の思いである  
これはこのままではすまされない。  
お焼香をすませ、帰る 松川の宅で富川君 大城君一緒にしばらく休んで帰る 昭彦君も今日も公舎に来て居て良かった 夜、一彦君より電話あり

三月十五日(土) 晴

米人 ヒリング氏(前上院議員)プ

ライス氏、牧氏 民政官、来訪  
十時から琉大卒業式。近畿土地KK社長、小森一彦氏表敬、十二時 人事院勧告、十二時 日本経済技術コンサルタント表敬

一時 太田さん喜寿 二時 ナハ水道局落成式 三時 上江洲さん告別式 大典寺 星条旗記者ヒューストンインタビュー 五時から公舎で私設ブレインとの懇談会

大山、宮里、喜屋武。福地 朝夫君。

三月十六日(日) 晴

今日は一日在宅 勉強する

午后 一彦ちゃん一家、朝夫君 昭彦君来訪 子供等のいろ／＼の意見を聞く。参考になった 一彦ちゃん夕方まで遊んでいた 可愛い子になる時でもいつも頭の中は物考えから開放はされない この事は極めて不自由である 毎日この不自由の連続である 夜、琉大 新垣博子さん、他一人の婦人と来訪、首里高の人事問題の重大化について話をもつて来る。

三月十七日(月) 晴

十二時 ナハ新港起工式 祝辞 二、三表敬あり、醤油の物品税軽減について陳情

小中学校長 共済組合法について陳情あり、首里高校PTA会長 副会長 中山文教局長 副主席等と首里高問題について懇談、記者会見、六時半から平安常実氏令嬢結婚式夫婦で

出席する

三月十八日(火)晴

久場、新城、山里、仲宗根 琉大諸先生の話を聞〔く〕 於 公舎 知念、砂川、宮城局長 一緒労働局長と職業訓練センターの敷地予定地視察、五時から復帰協執委と懇談 知念氏と一緒に、安里氏観光事業団就職決定。今日は非常に重苦しい一日だった 沖縄の不景気という風説に頭を悩ました為、もっと早く琉大の先生方に話を聞く要があった。

三月十九日(水)晴

町村まわり。

八時半 出発、南風原村を皮切りに。一ぱいの方々が村役所に待ちうけて下さった 村、農会協組合、教委、婦人会等 要請を受け 最後に私からあいさつ約一時間。次は与那原、ここも沢山お集りだった 佐敷も然り。晝食を役所ですまし、知念村へ

道悪く玉城へ出るのに時間はおくれる、玉城村も沢山お集りだった 次いで具志頭村もすまし、大里村で終り七時前までかかる 第一日は有意義に終り、一応政府へ帰る

局長会は未だ続いている ヒサゴで南部町村長の集いに出席、懇談する。

三月廿日(木)晴

中城 西原を午前中にまわり 東風平訪問、ここで晝食 今日 宮里建設局長も同伴する。糸満 ここは沢山集って居り問題も多かった 次に

豊見城、ここは更に沢山 一五〇名位参会していた 五時半に終り 風邪気味であつたので内へ帰って休む。

三月廿一日(金)晴

午前中 局長会議 於 主席室  
二時から与党連絡会議 於公舎  
六時半から彼岸の為 松川へ。  
久し振りに疊の間で夕食会 十時頃帰る

三月廿二日(土)晴

九時 民政官に会う。予算の件 諮問委の件、未■予算の件 その他放射能の件 四種コ用者の件、分離発注の件

十一時から大浜先生との懇談会  
十二時 記者会見、十二時 晝食会  
二時から伊江島で六時五〇分から私を励す大会。私の外、平良幸市氏 岸本氏一緒 私は話が終ってから警察ボートで先に帰る 十一時頃帰宅  
夕刊紙(タイムス)に関連記事あり  
心いたむ 皆に心配かけてすまぬ

三月廿三日(日)晴

教委選挙に行く、松川寄り  
鉢に施肥 十時からフランス記者  
インタービュー 十二時 報恩会理事  
事会二時から予算シン議会